

ACROSS PRESS

Vol. 29

誰もが自分らしく生きられる地域づくりを発信します。

Activity report 第3回 相談支援部会を開催しました

9月17日、第3回目となる相談支援部会を開催いたしました。今回の部会では、まず災害対応に関する各種報告を行いました。被災状況の確認結果や、現地支援に入っていた関係機関についての報告をはじめ、これらがどのように「被災障がい者把握事業」の実施へとつながっていったのか、その経緯や背景を共有しました。また、その後の個別訪問の取り組み状況や経過についても具体的な報告がなされました。続くグループワークでは、八代圏域を4つのエリア（圏域）に分けて意見交換を実施しました。各地域で抱えている困りごとや現場での課題、今後の連絡・連携体制などについて活発な情報共有が行われました。

～部会を振り返って～

今回の部会を通して、改めて八代圏域における相談員同士のつながりや絆の強さを実感いたしました。地域の障がい福祉を支える皆様の意識の高さと豊富な経験は非常に頼もしく、心強い限りです。今回の貴重な経験や部会で得られた知見・課題を今後の活動に活かし、地域の相談支援体制をより一層ブラッシュアップできるよう努めてまいります。

第6回
9月11日

就労選択支援プロジェクト会議を開催しました

先日、「第6回 就労選択支援プロジェクト会議」が開催され、事業スタート後の実施状況や支援プロセスの振り返り、今後の課題について協議を行いました。

実施状況と支援プロセスの報告

会議では事業スタート後の実施状況が報告され、これまでに1名の方の利用終了が報告されました（熊本地震の影響に伴い、日程の調整や期間の延長等を行いながら支援を完了いたしました）。

また、本事業における具体的な支援プロセスや連携会議の取り組みについても共有されました。就労継続支援B型事業所への利用を希望される方に対し、簡易アセスメントをはじめ、就労移行支援事業所やB型事業所での実地アセスメントを通して5～6種類の作業内容を提供し、ご本人の適性や意向に合わせた丁寧な支援を行っています。



Message

地域のネットワークを大切に



日頃よりアクロスの事業ならびに地域の相談支援体制の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今号でご紹介した部会やプロジェクト会議のように、関係機関や相談員の皆様との繋がりがあってこそ、手厚い支援が可能となります。今後も皆様と手を携え、笑顔で暮らせるまちづくりを目指してまいります。

多機能連携会議の振り返り

多機能連携会議の振り返りでは、「会議の際に、作業風景や経過を写真付きで報告・共有できれば、関係者間での状況把握や理解がより深まったのではないかと」、今後の支援の質を高めるための貴重な意見が出されました。

今後の課題と取り組み

- アセスメントの充実：評価精度の向上に向けた実習先の確保と、アセスメント内容のブラッシュアップ
- 早期把握と啓発：特定の期間に利用が集中するとキャパシティを超える可能性があるため、早期からの意識啓発や対象者の把握
- 学びの機会づくり：選択支援に関する理解を広げるための研修会等の実施

利用されるお一人おひとりが自らの意向や適性を深く理解し、納得して「自分らしい働き方」を選択できるよう、アセスメントを通じた丁寧な支援を重ねてまいります。

中高生の居場所づくり

あくるスペース

中高生のための居場所 あくるスペース

さまざまな理由で不登校となっている中高生のための居場所を提供します。

開所日は
こちら